

～文化力アップ ちばあーと 2011～
千葉・県民芸術祭記念コンサート

成田フィルハーモニー管弦楽団

❖❖❖❖ 第27回定期演奏会 ❖❖❖❖



Johannes Brahms

2011年10月9日(日) 14時00分開演(開場13時30分)
ふれあいプラザさかえ文化ホール

主催/千葉県・千葉交響楽団協会
成田フィルハーモニー管弦楽団
協力/㈱日本アマチュアオーケストラ連盟
後援/成田市教育委員会・栄町教育委員会

PROGRAM ●プログラム

★「大学祝典序曲」作品80

Academic Festival Overture

ヨハネス・ブラームス Johannes Brahms

★「カレリア組曲」作品11

Karelia Suite, Op.11

ジャン・シベリウス Jean Sibelius

—*—*—*—*—*— 休憩 —*—*—*—*—*—

★交響曲第4番 ホ短調 作品98

Symphony No.4 in E Minor, Op.98

ヨハネス・ブラームス Johannes Brahms

※終演予定時刻は午後4時頃です。

ご挨拶

本日は、私たち成田フィルハーモニー管弦楽団の演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。本来今日の演奏会は今年4月に予定しておりましたが、震災の影響により本日に延期して開催いたします。またこの間、幸いにも千葉県、千葉交響楽団協会のご支援を受け千葉県民芸術祭記念コンサートとして開催する運びとなりました。ここに無事定期演奏会を開催できますのも、地域の皆様方をはじめ関係各位の暖かいご協力の賜物と団員一同感謝申し上げます。

さてあの震災以後、被災地の方々はもちろん私たちの身の回りにも本当に様々な出来事があり様々な思いが去来いたしました。《無常》という言葉がございます。人生も、周囲の風景も移ろい続け、ひとところにとどまることをしりません。あの日その無常本来の凄まじい本質を垣間見た思いです。『国破れて山河あり』のその山河すら変わってしまいました。そして変わり行くものであるにせよ、あるいは変わり行くものであるがゆえに《何気ない日常》というものが実は何物にも代えがたい大事なものだと改めて気づかされました。

《音楽》とは、《音楽》をすることとは何でありましょう。絵画彫刻の現存しながら美を表現するものとは違い、音は、一瞬現れては消え去り、また現れては消えていきながら曲想を形作っていきます。まさに何物にも代えがたい《無常》そのものでありましょう。そして時に乾いた心にゆくりなくも滲み通り、精神を生き生きとさせ、心の奥底に何かを目覚めさせます。

私たちの演奏が《音楽》の本質に少しでも触れることを願いつつ、このホールいっぱい《音楽》の喜びが輪となって広がり、この午後のひとときが団員のみならずご来場の皆様にとりましても有意義な時間となれば、この上ない幸いです。

団長 武田一成

PROFILE ●プロフィール

❖吉村 仁(指揮)

石川県生まれ。石川県立金沢辰巳丘高等学校普通科芸術コース一期生。同校管弦学部初代部長。東京音楽大学、桐朋学園などで指揮を学ぶ。

東京音楽大学大学院作曲指揮専攻終了。修士論文は「ヴァーグナーの指揮について」。修了演奏は「ジークフリートのラインへの旅と葬送行進曲」。

その後、ミュンヘンに留学。バイエルン州立歌劇場で研鑽を積むかたわら、フライブルクでペーター・ギュルケに、マインツでシルヴァン・カンブルランに指揮を師事した。

指揮を紙谷一衛、三石精一、湯浅勇治各氏に、合唱指揮を故関屋晋、ピアノをマインハルト・プリンツ、武田真理、深沢亮子の各氏に師事。

❖成田フィルハーモニー管弦楽団

1985年(昭和60年)結成。成田地域の市民オーケストラとして、毎年春の定期演奏会、秋のファミリーコンサートを中心に、公民館活動、ロビーコンサート等、様々な演奏活動を行っています。

団員は主婦、会社員、学生、そして年代も10代から60代と幅広い層で構成され、毎週土曜日に主に成田市玉造公民館にて練習を行っています。鹿島市、市原市、千葉市、船橋市など遠方から参加している団員もおります。

玉造公民館を会場とした「玉造ファミリーコンサート」(毎年10月)では中核的な役割も担い地域の皆様に身近に音楽を親しんでいただいております。

成田市文団連、千葉交響楽団協会、日本アマチュアオーケストラ連盟に加盟。千葉県教育長賞受賞(平成22年)。

成田フィルハーモニー管弦楽団HP(ホームページ) <http://www.2s.biglobe.ne.jp/~nariphil/index.html>

PROGRAM NOTES ●プログラム・ノート

大学祝典序曲 作品80 ブラームス

ブラームス(Brahms)は、バッハ(Bach) ベートーヴェン(Beethoven)と共に、ドイツ音楽における「三大B」とも称される大作曲家です。

この「大学祝典序曲 作品80」は、ドイツ(現在はポーランド)のブレスラウ大学から授与された名誉博士号の返礼として、ブラームスが47歳の時に作曲した曲だといわれています。

また、陽気で楽しい序曲であり、ブラームスが同時期に作曲した「悲劇的序曲」と対になる曲としても知られています。

曲の内容は、学生歌4つ(「我らは立派な校舎を建てた」「国の親父」「新入生の歌」「だから愉快地やろうじゃないか」)が組み込まれ、音楽的技巧が良く発揮されています。洗練された構成や暖かな抒情性、躍動感やユーモアがあふれている点で、今日でも大きな評価と支持を受けて演奏されている曲です。

カレリア組曲 作品11 シベリウス

ジャン・シベリウス（1865 - 1957）は、フィンランドの作曲家です。青年期にはバイオリン奏者を目指しましたが、後に作曲に専念しました。この曲は、野外歴史劇のための音楽で、8曲のうちから選ばれた3曲で構成されています。

第1曲 間奏曲

劇の第3景。統治者であったリトアニアの王女がカレリアの住民から税を取り立てていた時代の場面の音楽。ほぼ1つの主題の繰り返しからなります。

第2曲 バラード

劇の第4景。吟遊詩人が歌う場面の音楽。原曲はバリトン独唱の叙情的な恋の歌です。

第3曲 アラ・マルチャ（行進曲風に）

劇の第5景。16世紀の場面の音楽。2つの主題からなる行進曲。

カレリアとはスウェーデンの南東部からロシアの北西部に広がる地域の名前です。

Fl 原田

交響曲第4番 作品98 ブラームス

ブラームス（Brahms）作曲「交響曲第1番」は、ドイツの指揮者ハンス・フォン・ビューローに「ベートーヴェンの交響曲第10番」と高く評価されましたが、この「交響曲第4番」は、ブラームス52歳の頃に作曲されたブラームス最後の交響曲であり、4曲の交響曲の中では、〈作風が重厚でありながら、美しい情感をたたえ格調ある響きのうちに、深い精神的内面性を感じさせる〉ブラームスらしさという点で、筆頭に挙げられる曲です。

第1楽章 アレグロ・ノン・トロツポ

ホ短調。2/2拍子。ソナタ形式。哀切な表情を湛えた始まりです。

第2楽章 アンダンテ・モデラート

ホ長調。6/8拍子。展開部を欠いたソナタ形式。ホルンと木管楽器の、鐘のような音から始まります。フリギア旋法（ミから始まる7音音階で主音をずらしていく旋法）を用いています。

第3楽章 アレグロ・ジョコーソ

ハ長調。2/4拍子。ソナタ形式。ブラームスの過去3曲の交響曲の第3楽章が間奏曲風の比較的穏やかな音楽だったのに対し、この曲の第3楽章は、豪快で快活な音楽です。

第4楽章 アレグロ・エネルジーコ・エ・パッションート

ホ短調。3/4拍子。バスの8つの音符による不変主題の上に、自由に和音と旋律を重ねるシャコンヌ（一種の変奏曲）。楽章全体が、主題と30の変奏及びコーダからなっています。

Vn 柴田

協賛会員・広告のお願い

成田フィル第28回定期演奏会（2012年4月開催）の協賛会員および広告を募集しています。会費・広告料は、楽器の購入費、演奏会開催費用等に充当させていただきます。協賛会会員は演奏会ごとに募集し、会費は1口5千円で何口でも結構です。会員の皆様には1口につき、2枚の定期演奏会の入場券を差し上げます。プログラム掲載広告につきましても、同時に募集しております。折込の協賛会会員申込書にご記入の上、受付までお申込み下さい。

成田フィル事務局（天野） 090-4611-5657
成田フィル広報担当（中村） 090-3683-8332

出 演 者

指揮：吉村 仁 コンサート・ミストレス：若林 佳水

1st Vn (ヴァイオリン)	Va (ヴィオラ)	Cb (コントラバス)	Fg (ファゴット)	Tb (トロンボーン)
若林 佳水	齋藤 剛	中村 勇一*	大久 美江	石原 靖章
山野美穂子	小林あやめ	井上 美冬*	大矢真由美	赤瀬 健太
苅野 洋子	中川 泰江	高山 修*		阿部 博*
岩崎 美樹	島村 稔*	山口 正徳*	C.Fg (コントラファゴット)	
坂口トキ子	田中 仁*	増田 美貴*	増子 恭一*	Tu (チューバ)
近野 綾子	吉村裕貴子*			中澤 隆司*
浜中 貴子*	伊藤 綾子*	Fl (フルート)	Hr (ホルン)	
吉野 淳子*	小島佐和子*	武田 一成	梶本 一之	Perc (打楽器)
廣川 智*		原田 勉	久古 孝	白井絵里佳*
永野 武*	Vc (チェロ)	小出 久美	中村 則之	徳永 鈴佳*
西 甫*	辻 隆志		遠藤 弘一	小野 浩道*
大磯美紗子*	永田 葉子	Ob (オーボエ)		大宮 望美*
	清水亜裕美*	白坂 信和	Tp (トランペット)	
2nd Vn (ヴァイオリン)	村上咲依子*	蒲原 毅朗	関本 由紀	
柴原かな	片岡 香織*	保坂 尚	天野 義夫	
林 清子	柏原 勉*	清野 智香*	山崎 和成	
武藤やよい	大坪 元*		成宮 公子	
柴田江理子	大坪麻紗美*	Cl (クラリネット)	阿部 瑞樹*	
高嶋 裕介		小熊由布子		
高山ハズン		長森 美幸		
鈴木 里英				
忍田かやの*				*は賛助出演
田中 裕子*				
河田百合子*				

団員募集

ご一緒にオーケストラで演奏する仲間を募集中です。

特に弦楽器の方大歓迎です。毎週土曜日に主に玉造公民館にて練習を行っています。

クラシック音楽に興味のある方、どうぞお気軽に見学にお出で下さい。

★ e-mail でのお問い合わせ：
narita-phil@mtc.biglobe.ne.jp

★ HP (ホームページ)
http://www2s.biglobe.ne.jp/~nariphil/index.html

今後の演奏会

成田フィルハーモニー管弦楽団 第28回定期演奏会

●日時：2012年4月22日(日)
午後2時開演

●会場：成田国際文化会館大ホール

●曲目：ブラームス交響曲第1番

他

(白紙ページ)

アンケートのお願い

本日は成田フィルハーモニー管弦楽団『第27回定期演奏会』にお越しいただきありがとうございました。これからのよりよい演奏活動に反映させるための資料にいたしますので、ご面倒でも以下のアンケートにお答え頂きますようお願いいたします。

1. 曲目・演奏について（ご自由に感想をお書きください）

★ブラームス 大学祝典序曲

★シベリウス 『カレリア』組曲

★ブラームス 交響曲第4番

2. その他

3. ご来場のきっかけについて（○をお付けください）

ポスター、チラシ、公民館、インターネット（当団HP）、ご招待、栄町広報誌、

新聞（ ） 情報誌（ ）

団員より（団員名 ） その他（ ）

4. 年齢（ ）代 / 性別（男・女） / ご職業（ ）

お差し支えなければお名前・ご住所をお書きください。今後の当団演奏会のご案内をさせていただきます。

お名前

ご住所 〒

ご協力ありがとうございました。アンケート用紙はお帰りの際受付にお出してください。

※ご協力頂いた方には粗品を差し上げます。

成田フィル協賛会員募集

成田フィルハーモニー管弦楽団
団 長 武田一成

第28回定期演奏会・協賛会員募集のお願い

平素は私ども成田フィルに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

私ども成田フィルは1985年の創立以来、より地域に密着したコミュニティオーケストラを目指して活動してまいりました。来年4月には下記のとおり、第28回定期演奏会を予定しております。

しかし演奏会開催費用や日ごろの練習指導に掛かる費用そして特殊楽器購入費用等々、運営資金面ではまだまだ苦しい現状がございます。

皆さんのお力で地域のオーケストラを支えていただければ幸いです。よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

記

名 称 成田フィルハーモニー管弦楽団 第28回定期演奏会
日 時 平成24年4月22日(日) 午後2時開演
場 所 成田国際文化会館 大ホール
曲 目 ブラームス 交響曲第1番 他
指 揮 吉村 仁
管弦楽 成田フィルハーモニー管弦楽団

※ 本会は、会場費、指揮者謝礼、楽器の購入等、成田フィルの運営諸経費を助成していただくものです。

※ 会員は演奏会ごとに募集いたします。協賛会員会費は一口5000円で、何口でも結構です

※ 会員の皆様には一口につき2枚の入場券をさしあげます。

※ お問合せ先 成田フィル事務局(天野)090-4611-5657 / 広報担当(中村)090-3683-8332

※ 尚、曲目詳細のお知らせと入場券の発送は、来年度に予定しておりますのでご了承下さい。

以上

----- 切り取り -----

平成 年 月 日

成田フィル協賛会申込書

お名前	様
お電話番号	— —
ご住所	〒
口数	

※ お申込みは受付にて行っております。